

地域医療構想に係る情報共有について

理事会及び地域保健医療対策委員会において、地域医療構想に対する神奈川県病院協会の責務・役割について議論がなされ、以下の提案や意見があった。

- 行政の動向（県保健医療計画推進会議等）・地区調整会議等の「情報収集」
- 会員・委員・役員の「意見集約」
- 会員・委員・役員・地区病院協会へ「情報提供・フィードバック」

↓

これらを迅速に行うには、双方向のコミュニケーションツールの活用が有効である。
「グループウェア」を利用して「地域医療構想の会議室」を設置し、議論や情報共有の場として活用してはどうか。

グループウェア（サイボウズLive）について

- ・web ブラウザを利用する。
- ・メンバーの上限が 300 であり、全会員の登録が可能。
- ・掲示板及びチャットの機能があり、リアルタイムで情報交換が可能。
- ・容量の大きい PDF や word・excel 等が貼り付けられ、慣れれば使い勝手がよい。
- ・パソコンの他、スマートフォン・従来型携帯電話（アプリ等をインストールする必要有）にも対応しているため、使用する場所を選ばない。

メールングリスト（メール利用）との比較

- ・県病院協会がサーバー契約している NTT のプランは、登録可能メールアドレスが最大 20 アドレス×5 グループで、会員数（288）を網羅できない。
- ・パソコン用のメールを登録した場合、パソコンのみの使用となる。

以下、ご了承頂けた場合

- ・ご参加頂ける場合は、登録手続きが必要です。
- ・病院代表のメールではなく、先生方が普段利用されるメールアドレスから、県病院協会事務局（担当 町田 machida@k-ha.or.jp）へメールをお送りください。折り返し、登録手続きのご連絡をいたします。

サイボウズLive | ホーム | グループ | マイカレンダー | チャット | コネクション | アカウント

県病地域医療構想

グループ内を検索する

トップページ | イベント | ToDoリスト | 掲示板 | 共有フォルダ | メンバー名簿 | 設定

トップページ 掲示板 トピックの詳細

まとめページを表示 変更する ごみ箱に入れる (管理者権限) 添付ファイル一覧を表示する

掲示板 (意見交換)

カテゴリ 編集する

(すべて) (5)

日 (未分類) (1)

地域医療構想の会議室

日 はじめての方へ (4)

ごみ箱

地域医療構想の会議室

(未分類)

小松常任理事の提案を受け、新たにサイボウズのSNS機能を使って、会議室を立ち上げました。まずは、トライアルでメンバーを限って、実験してみようと考えています。

いいね! 返信する

登録 2015/10/14(水) 10:37 末村 博嗣
更新 2015/10/20(火) 14:25 窪宮 孝道



編集モード: テキスト 書式編集

添付ファイルを追加する

コメントする

最新へ | < 新しい 20 件へ | 古い 20 件へ | 最初へ

古い順に表示



17: 小松 幹一郎 2015/10/29(木) 9:01

丹羽先生

地域医療構想で決めた病床数や病棟種別に、医療機関が拘束されることはあまり無いような気がしますが、あるとすれば医療審議会⇒知事で命令や要請という形取りになるんだと思います。県が考えているのは、「とにかく来年の秋までに数字の入った地域医療構想を策定する」までのような気がしますが。構想の実現に向けてどうやっていくかについては、先送りしているんでしょう。

先生がおっしゃっているように4機能区分のうち、高度急性期・急性期・回復期の3区分は現状でも考え次第で、相当変動すると思います。

いいね! 返信する

サイボウズLive | ホーム | グループ | マイカレンダー | チャット | コネクション | アカウント

県病地域医療構想

グループ内を検索する

トップページ | イベント | ToDoリスト | 掲示板 | 共有フォルダ | メンバー名簿 | 設定

トップページ 共有フォルダ

フォルダ 編集する

(未分類)

H27.10. (3)

H27.8. (2)

H27.7. (4)

添付ファイル (1)

ごみ箱

共有フォルダ (資料貼り付け機能)

共有フォルダを検索する

ファイルを追加する

H27.10.

説明を編集する

移動する ごみ箱に入れる

アイコン 一覧 更新日時 (降順)

<input type="checkbox"/>	地域医療構想に関する(第2回調整会議にあたっての) 情報提供.pdf	H27.10.	更新者: 町田 淳	85 KB	更新日時: 10/14(水)
<input type="checkbox"/>	第3回推進会議資料.pdf	H27.10.	更新者: 町田 淳	1,211 KB	更新日時: 10/14(水)
<input type="checkbox"/>	県病の考え方・要望について (6回理事会資料) .pdf	H27.10.	更新者: 町田 淳	1,186 KB	更新日時: 10/14(水)

先頭へ | < 前の 20 件へ | 次の 20 件へ | 末尾へ

地域医療構想の会議室

10月21日の常任理事会において、了承いただき、正式に県病院協会の電子会議室として立ち上げました。

順次、先生方からメールアドレスを教えてください、会議室へお招きいたしますので、
よろしくをお願いします。

小松常任理事の提案を受け、新たにサイボウズのSNS機能を使って、会議室を立ち上げました。

登録 2015/10/14(水) 10:37 木村 博嗣

更新 2015/10/29(木) 9:01 小松 幹一郎



17: 小松 幹一郎 2015/10/29(木) 9:01

丹羽先生

地域医療構想で決めた病床数や病棟種別に、医療機関が拘束されることはあまり無いような気がしますが、あるとすれば医療審議会⇒知事で命令や要請という段取りになるんだと思います。県が考えているのは、「とにかく来年の秋までに数字の入った地域医療構想を策定する」までのような気がします。構想の実現に向けてどうやっていくかについては、先送りしているんでしょう。

先生がおっしゃっているように4機能区分のうち、高度急性期・急性期・回復期の3区分は現状でも考え次第で、相当変動すると思います。



16: 丹羽 明博 2015/10/28(水) 16:58

本日、調整会議議長の医師会長と話しましたが、この件については十分理解していないようでした。

会議の30分前に資料や進行の話方を伝えられたようです。

私が疑問に感じた【病床割り振りは一旦決めたら変更はない】との発言には、議長としても疑問を感じたようです。

計算方法を患者居住地、病院住所地どちらを基準にするかについてですが、数年ごとに見直しを行うなら患者流出入を勘案できる後者で行うのが良いと思います。しかしながら、変更しないのなら数が確実に読める前者で行い、浮動数である流出入はあるものとして融通性を持って考える方が考えやすいのではないのでしょうか。まだよく理解できていないまま、発言しているのかもしれない。

いずれにしても現在考える基準になっている数字はレプトから拾い上げた区分によるものですが、考えていかなければならないのは病棟別区分となるので、各地域で数百は簡単に変動するように思います。



15: 窪倉 孝道 2015/10/27(火) 17:37

長堀先生、丹羽先生参加ありがとうございます。

本掲示板の価値を高めるためには、各地区会員病院での独自の話し合いや調整会議の様子を情報提供しあうことが重要と思います。次回11月4日の理事会日には各地区病会長会もありますので、議論を深めるためには10月の各地区での動きを事前集約するのがよいと考えています。事務局より県病役員のお立場で調整会議にご出席の先生方や地区病会長に一定の書式で報告文書を取りまとめていただき、この掲示板にも載せてゆきたいと思います。

以上、木村事務局長に提案し、会長決済を求めましたのでご報告まで。

窪倉孝道



14: 長堀 薫 2015/10/27(火) 8:50

横須賀共済病院の長堀 薫です。この会議室でぜひ、各地域のUp to dateな情報を得られたらと期待しています。

よろしくお願いたします。



13: 小松 幹一郎 2015/10/26(月) 19:15

窪倉先生 貴重な議事録を提示していただき有難うございます。病床整備も、県保健医療計画も、地域医療構想も結局、どこまでちゃんとやるか(計画と評価)、やれるか、やる気があるのか・・・という県事務局と医療提供側の覚悟で大きく変わりますよね。いずれにせよ議事録大変参考になりましたし、勉強になりました。

土曜日に県医師会の古谷会長のお会いする機会があり、地域医療構想策定において県医が取り組んでいることをもう少し会員に発信して欲しいとお伝えしました。



12: 小松 幹一郎 2015/10/26(月) 19:09

丹羽先生 こちらこそ宜しくお願いします。 会議というか、ざっくばらんな情報提供・意見交換の場だと思っております



11: 丹羽 明博 2015/10/26(月) 12:01

新参者です、よろしくお願いたします。

こういう会議は不慣れなもので、迅速な対応等ご迷惑をおかけするかと心配しております。

と、まず言い訳をしておいて、何とか皆様についていこう頑張ってみます。



10: 窪倉 孝道 2015/10/23(金) 18:27

メンバーの皆さん

10月の各地域の調整会議に先立って行われた「平成27年度第3回神奈川県保健医療計画推進会議」の議事録原稿が届きましたので添付ファイルとして追加しておきます。県当局の考え、各委員の疑問点などが参考になると思います。お役立てください。

修正済 平成27年度第3回神奈川県保健医療計画推進会議.doc (117 KB)



9: 窪倉 孝道 2015/10/20(火) 14:25

小松先生、ご苦労様でした。

結局、ガイドラインの流れをなぞっている感じですね。医療機関所在地ベースは地域完結の視点から患者本位ではありませんが、患者の医療機関選択の自由と現状の尊重という観点からは利点があり、医療資源投資の観点からも県は程度ある合理的と踏んでいるのでしょうか。一方で確実な病床ニーズの高まりからすると患者住所地ベースの視点も抜きにはできないから、何らかの方法では調整しなくてはならないと最終方針を留保しているかのようです。

「県医師会の意見」については松井理事も同様の発言を横浜市病院協会ですており、私も真意がわかりませんでした。 「近く県医師会報に載るから」というように言っていたような気がします。意見交換は必要に思いますし、12月の意見交換会のテーマにしてはどうかと考えています。事務局としても、どうでしょう？ 窪倉



8: 小松 幹一郎 2015/10/19(月) 23:00

第2回相模原市地域医療構想調整会議の結果を報告いたします。

まず事務局より都道府県間調整と患者の流出入データなどについて説明がありました。

今回の論点は、構想区域をどうするか？患者住所地ベースで考えるか？医療機関所在地ベースで考えるか？でしたが、

事前に医療関係団体で調整していたこともあり、相模原市は構想区域＝相模原、4機能区分とも医療機関所在地ベースで考えるという結論になりました。

私から事務局に質問した「県内で患者住所地ベースと医療機関所在地ベースの混在はありえるのか？」については、「ありえる」とのことで、そのような場合には県が調整するとの答えでした。

資料では東京都と患者住所地と医療機関所在地で異なる場合には調整がつかなければ医療機関所在地ベースになるとのことですから、県内でも最終的には

患者住所地ベースか医療機関所在地ベースかどちらかで統一しないとおかしいのでは？と追加で質問しましたが、「調整する」と一点張りでした。

また患者住所地ベースで考えるに当たって、患者の受療行動を制度的に制限するのかという質問には、「そこまでは踏み込めない、多少誘導を促すぐらい」

とのことで、ただでさえ絵に描いた餅になりかねない地域医療構想が患者住所地ベースで策定できるとは到底思いませんでした。事務局はガイドラインに

「高度急性期以外は患者住所地ベースが基本」という文言にまだに拘泥しているのかなという印象です。

また病床数の推計に関して、前回の会議で話題が出た精神病床や介護施設の影響についてですが、今後検討していくとのことでしたが、別の質問では介護関係は管轄が違うのでコメントできないとのこと、今後病床推計の議論に進んだ際に事務局がどこまで掘り下げられるかは不明です。

また県医師会増沢先生より患者住所地か医療機関所在地かを議論する必要は無いといったニュアンスの発言がありました私にはよく意味がわかりませんでした。増沢先生と県事務局は意見交換をしているようですが、県医師会の考え方やスタンスについては県病として意見交換を密にしていける必要はあると

思います。12月の意見交換会だけでなく、早めにトップ会談をしておいてもいいと思いました。

冗長になりましたが報告以上です。 小松



7: 小松 幹一郎 2015/10/17(土) 16:27

窪倉先生 相模原は環境的に恵まれていると思います。

①医師会会長が竹村先生に代わり、地域医療構想の重みを理解して医師会の呼びかけで事前の集まりを開催したこと
医師会の方が、圧倒的にマンパワー、お金、市とのパイプがあるので・・

②相模原市＝二次医療圏＝構想区域が一致していること

③調整会議のメンバーに病院の院長が7名参加している事 当初は枠が医師会2、病院協会2、大学1でしたが
医師会3、病院協会2、地域支援病院2、大学1まで増員させたこと

です。

個人的には、医師会のサポートと協力が必須だと思いますが、県医師会の熱意は全く感じられない気がします・・



6: 窪倉 孝道 2015/10/17(土) 10:11

さすが、相模原！フットワークがいいですね。

横浜は、時間があるのに調整できないのはあまりに残念。これは地区が広域なこと、協会事務局の意識の問題や要領の良否もありそうで、各地区病の運営状況が関係していそうです。

そこで、病院協会事務局ラインでの支援も要検討ですね。

また、今回は協会として最大限努力しましたが、推進会議と地区調整会議との間合いも重要なので、各地区での事前説明会の開催を前提にした情報提供、日程調整を県にお願いするのも県病院協会として必要ではないでしょうか？！



5: 小松 幹一郎 2015/10/16(金) 22:59

小松です

14日の水曜日に調整会議の参加メンバー（医師会と病院協会 計8名）と相模原市地域医療課3名課長・担当課長・主幹で第2回調整会議の事前打ち合わせを行いました。

県の予定では第2回・第3回で構想区域の設定や患者流出入の話題（東京都南多摩医療圏と県央医療圏がほとんど）、患者住所地ベースor医療機関所在地ベースについての議論を進めるとのことでしたが、現実的に医療機関所在地ベースで考えるべきとの意見で統一されました。構想区域に関しては二次医療圏と市が一致する相模原が一番苦労の無い区域だと

思われます。とりあえず構想区域＝相模原市で話が進んでいくと思います

19日に調整会議が行われますが、その際に県事務局に確認しようと思っている点は「県内で構想区域によって医療機関所在地ベースを選択する区域と患者住所地ベースを選択する区域が混在することはありうるのか？それとも混在した場合には県の推進会議でどちらかに統一するのか？」です。